

生活支援体制整備事業について

(令和7年度活動報告・令和8年度活動方針)

令和8年2月24日(火) 14:00~

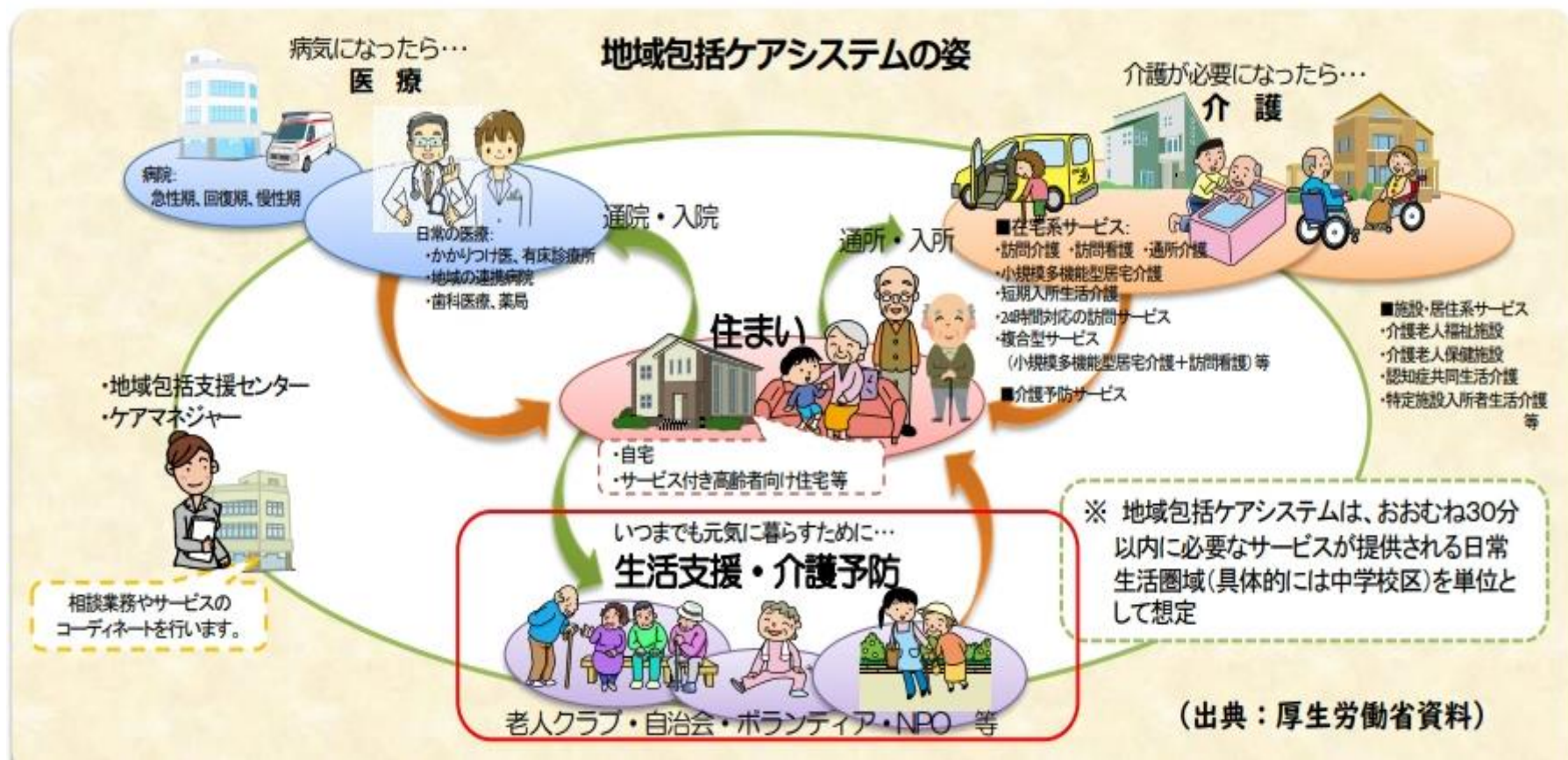
古賀市 保健福祉部 福祉課 福祉相談係

生活支援体制整備について

【基本理念】

住み慣れた地域でともに支えあい、
健やかに最期まで安心して暮らせるまちづくり

～みんなで支え合う地域づくりをしよう～



校区別地域支えあいネットワーク全体会議

校区別地域支えあいネットワーク全体会議 「高齢者を取り巻く問題」

～地域住民や各種団体、行政等が連携してネットワークづくりを推進する～



校区	日程	内容	参加
古賀東	11/2 (金)	孤立・孤独	26
千鳥	11/29 (土)	認知症	24
古賀西	12/2 (火)	孤立・孤独	24
舞の里	12/5 (金)	認知症	26
青柳	12/6 (土)	孤立・孤独	26
花鶴	12/10 (水)	孤立・孤独	29
小野	12/13 (土)	孤立・孤独	24
花見	12/19 (金)	孤立・孤独	25

参加者内訳

地域市民(区長、民生委員、福社会会長・福祉員他、シニアクラブ単位クラブ 理事他 校区コミュニティ役員、**地域活動活動者**)

圏域(第1・第2・第3)地域包括支援センター
社会福祉協議会

職員(福祉課、健康介護課、まちづくり推進課)
生活支援コーディネーター(第1層・第2層)

健康づくり推進員、食生活改善推進員、
介護予防サポーター

【内容】

●古賀市の高齢者の方の今とこれから報告（全共通）

第1層生活支援コーディネーター

●孤立を放置しない地域をつくるために

～孤独・孤立の現状～いま古賀市で起こっていること～

基幹型地域包括支援センター職員

●認知症とともに生きる

～認知症の人を理解して上手に関わろう～

エフコープ生活協同組合 福祉事業部

●グループワーク 発表 （全共通）

SC・CSW連携タイムについて

SC(生活支援コーディネーター) CSW(コミュニティソーシャルワーカー)

- 開催回数 10回(月1回実施 4月~1月)
- 参加者 第1層SC、第2層SC・CSW
基幹型地域包括支援センター(福祉課)
高齢者の健康づくり介護予防の一体的事業担当者(健康介護課)
古賀市社会福祉協議会
- 内容 情報共有(地域の進捗状況及び課題把握)
生活支援体制整備のあり方の検討

認知症地域支援推進会議について

- 開催回数 10回(月1回実施 4月~1月)
- 参加者 基幹地域包括支援センター(福祉課)
圏域地域包括支援センター(第1・第2・第3)
第1層生活支援コーディネーター

地域ケア会議について

- 開催回数 第1地域包括支援センター 10回 (実施 4月~1月)
第2・第3地域包括支援センター 5回 (実施 4月~1月)
- テーマ 認知症当事者や家族への課題解決について
- 内容 ケアマネージャーより毎回2例相談
アドバイザーによる自立支援に係る助言

地域支えあいネットワーク情報誌について



【内容】
地域活動

移動支援

地域包括支援センター

21号

R8年4月発行予定

発行 令和7年10月

日曜日の地域活動の紹介 ～交流の場～

公民館で開催のサロンやカフェは、老若男女多くの参加があり交流、語らいの場になっています。

花鶴丘3丁目区 日曜喫茶

毎月第4日曜日 13:00～15:00



催しプログラム

地域活動者のお披露目です。コーラスや楽器演奏、踊りなど、日ごろの練習成果の発表の場にもなっています。



手作りお菓子とドリンク 100円

中川区 本のサロン

毎月第1日曜日
9:00～12:00



本のサロン

読まなくなった本を公民館に持っていきます。読みたい本は自由に借りていき返却します。もらってもよいです。



おもてなし

手作りのおやつとお茶が出ます。



交流

子ども達も参加。テーブルを囲み情報交換です。

つどいの場の紹介 ～運動でつながる～

中川区 【体操教室】 毎月第1・3日曜日 10:00～11:30

約40人の参加があり、椅子に座って行う体操や早口ことばなど豊富なプログラムがあります。おしゃべりタイムも楽しみます。



教室が始まって約20年になります。当初から参加している人は、もうじき90歳をむかえます。毎週、元気に参加される姿は参加者みんなの励みです。

鹿部区 【シニアクラブゆめ会 (グラウンドゴルフ)】 毎週木曜日 9:00～12:00

古賀西地区やシニアクラブ連合会の大会に出場し、上級入賞をめざしたり健康づくりのため楽道グラウンドで練習しています。



概ね20人の参加者です。遠近から欠席の人には連絡を取って安否確認を行います。

鶴の星2区 【伊こ会】 毎月第4金曜日 10:00～12:00

自治会、福祉会、ヘルス・ステーションがつながりきい地域活動を行っています。伊こ会はヘルス・ステーションの行事です。目的地まで千鳥苑のバスで移動して歩くこともあります。



町川原2区 【伊の会】 毎週土曜日 10:00～12:00

鹿部ではグラウンドゴルフ、公民館ではスカットボールやカーリング、ボールピックなど軽スポーツを楽しんでいます。



令和7年4月(自治会制作)町川原2区DVDができました。
【動画】



千鳥東区 【ユニカール】 毎月第2・4日曜日 9:15～12:00

15年前、千鳥東区スポーツ交流会で初めて体験しました。誰でも気軽に出発するスポーツだったので、福祉会で行うことになりました。第4日曜日は地域外からも参加できます。



鹿野区 【こもの伊こ会】 毎月第1土曜日 8:00集合

25年ほど前、当時の区長の声かけで始まりました。昨年、創立1300年際をおこなった「天降神社」境内に集まり暑いときは涼を、雨や紅葉の時期は季節感を求め各所を歩きます。



困りごと支援の紹介

私も不慣れを出すので、持って行きますか?



今日は出すものが多くて困っていました。助かります。

分別ゴミ運搬のお手伝い

花鶴丘2丁目3区

令和5年4月より有志によるボランティア活動として各家庭から集積場所の公民館まで運ぶお手伝いをしています。登録家庭はゴミ出し日【第1日曜日】8時に玄関先などにゴミを出します。当日は歩いての車で移動して各家庭を回り、ゴミが出ていない所は安否確認をかねて声掛けをします。集積場で「重くて持って来ることが出来ないものがあるの運んでもらえますか?」と声がかかれば、自宅まで取りに行きます。



この活動を始めるきっかけは、お区内にゴミ集積場が多くなり、高齢者を出しにくいと感じたからです。



外出支援 おでかけタクシー

交通手段を持たない人の通院、買い物、公民館活動等の日常生活の移動をサポートします。

鹿内区

現在約60人の登録があります。病院などに行く人の利用に役立つ。登録した皆さんには便利に利用してもらっています。

高田区

70歳以上の人が登録の対象ですが、未就学者の保護者には、利用したいときにその都度、登録をしてもらっています。

久保区

70歳以上の人の通院・買い物・公民館活動など日常的に必要な移動をサポートしています。外出機会が増え、地域の高齢者の皆さんの自立を支えています。

これらの地域以外に鹿野区・高瀬地区でも実施しています。



地域移動サポート補助事業(通称:おでかけタクシー)の紹介

交通弱者の方の日常生活に必要な移動を補完するため、地域の交通弱者の支援を実施する行政区などの運営主体に対し、「古賀市地域移動サポート事業補助金」による支援を行います。

おでかけタクシーは、各区で設定している利用者負担額以外の経費部分を区が負担し、区の負担額に対して、市が補助するものです。(上掲あり)

令和7年度福岡県生活支援アドバイザー派遣モデル事業

●福岡県事業目的

生活支援体制整備事業を市町村において推進しているところであるが、事業実施に課題を抱えている市町村もある。

国が実施した「生活支援コーディネーター指導者養成に係る中央研修」の受講者をアドバイザーとし、モデル市町村へ訪問し、生活支援コーディネーター、市町村へ助言を行い、モデル市町村を通じて得られた知識及び技術の横展開を図る。

古賀市

●実施回数 3回（10月10日、12月16日、2月4日）

●参加者 第1層SC、第2層SC・CSW
基幹型地域包括支援センター（福祉課）
古賀市社会福祉協議会

1. 校區別地域支えあいネットワーク全体会議

課題

- ①地域活動（行事・つどいの場）の担い手不足
- ②地域活動（つどいの場など）のマンネリ化、参加者固定・減少

課題解決

健康づくりや介護予防関連サポーターと地域課題の共有化
（校區別地域支えあいネットワーク全体会議に参加）

方向性

校區別地域支えあいネットワーク全体会議に活動者の参加を促す
住み慣れた地域の課題解決に向けて、地域内で各種サポーターや
民生委員、福祉員等が良好な関係を築き、取組事例を共有しながら
活動を広げるとともに、個々のスキル向上と地域のエンパワメントを高める。

令和7年度は、身近な問題（認知症・孤立・孤独）をテーマにしたことで
見守り・声かけ・つながり合いの重要性を共有できた。
令和8年度も引き続き、身近な問題をテーマに実施する。

地域ケア会議

テーマ 認知症当事者及び家族の支援～地域のつながり～

課題 見守り、支え合いの必要性

課題解決 見守り・生活支援体制づくり、認知症カフェ開催の検討
認知症施策を統合的に推進するため係者間協議と実践

生活支援

テーマ ①移動支援 ②ごみ出し支援

課題解決 ①経営戦略課と情報共有を図り「おでかけタクシー」制度の発信
②環境課と協議

実績 取り組み検討中：1行政区 （実践中 4行政区）

方向性 取組み実績の発信
関係課と継続的な情報共有

生活支援体制整備事業について

- 人生100年時代を迎え、高齢者の増加が今後も見込まれます。あわせて、頼れる身寄りのない高齢者や、独居で暮らす認知症高齢者などの増加も想定されます。
- こうした中、高齢者の社会参加を促し、サポーターとして地域活動を推進することは、高齢者本人の介護予防や生きがいづくりにつながるとともに、地域全体のエンパワメント向上にも寄与します。
- さらに、地域における顔の見える関係づくりや活動の充実・発展は、日常の見守りや、困ったときに支え合える地域づくりにつながり、支え合いのネットワーク形成を促進します。
これは、第9期介護保険事業計画・第10次高齢者保健福祉計画に掲げる「住み慣れた地域でともに支えあい、健やかに最期まで安心して暮らせるまち」の実現に資するものです。